

日本会議 愛知県本部  
〒464-0836  
愛知県名古屋市千種区菊坂町3-5-302  
E-mail: tokai-seikyo@mtc.biglobe.ne.jp

TEL :052-763-4678  
FAX:052-763-4588



# あいち通信 第七十二号

## 美しい日本の憲法をつくる国民の会 全国キャラバン隊を迎えて

去る七月四日、美しい日本の憲法をつくる国民の会全国キャラバン隊が愛知県入りした。「国民の会」では、七月一日より二十一日までの間、全国を三隊に分け、四十七都道府県を訪問。一〇〇万賛同者拡大、地方議会決議の推進、街頭キャンペーンなどの活動を行った。以下は、愛知県における支援活動の概容である。静岡県より到着したキャラバン隊四名と午後一時に合流。地元役員共々、愛知縣護國神社を正式参拝。その後、藤沢忠将名古屋市長と横井五六愛知県議会議長を表敬訪問し、趣旨説明を行った。両議長からは、温かなおもてなしと、力強い激励をいただき退出。次に、名古屋駅前にて街頭キャンペーンを展開。キャラバン隊と地元役員が弁士を務め、道行く人に憲法改正の必要性を訴えた。路上では、チラシ配布と署名活動も同時に行い、多くの賛同が得られた。また、藤沢忠将名古屋市長も駆けつけられ、弁士としてマイクを握っていた。夕刻となり、会場を移して「憲法改正推進者の集い」と交流会を開催。キャラバン隊員は、二十代、三十代の青年が三名。皆さん元気発刺の好青年ばかり。地元役員も日常の運動報告などを語り、和やかな一夕を過ごした。翌朝は、兵庫県へ向かう隊員を見送って散会となった。(愛知県本部 事務局長 服部守孝)



### 西春日井支部での憲法改正署名活動紹介

西春日井支部は五月二十七日(金)に行われた愛知県神社庁尾張地区大会(北名古屋市で開催)と六月六日(土)に行われた西枇杷島まつり(清須市で開催)にて憲法改正の賛同者署名のコーナーを設置して署名を集めました。  
尾張地区大会では神田薫さん(当支部議員会員の)ご尽力、さらに尾張二ノ宮・大縣神社の牧野宮司のご配慮で入口正面に署名コーナーを設けさせていただきました。神職のみならず尾張の各地区の氏子総代さんなども参加されていて、日本会議の「憲法改正!」ののりを見ると「え?」という顔をされる方もおみえになりました。聞いてみると「神社庁の大会で政治的な活動をしているので驚いた」とおっしゃっていました。聞いていると「神社庁の大会で政治的な活動をして自治会長の許可をもらい、山車蔵の前での署名集めとなりました。こちらのたくさんの人が行きかう美濃路でも「なぜ」に憲法改正ののりがなぜ?なぜ?で署名活動?」という顔をしてみえるかたも少なからずおみえになりました。署名数はこの2回の活動で五十一筆でありましたが「憲法改正」という言葉を身近に感じてもらうには本当によかったんではないかと思っております。署名をとるための「コソ」というか秘訣(この2回の署名活動の経験を通じて私が見える事は、当支部事務局長の松川さんが推奨する「安倍さん応援しませんか?」「神社は憲法改正賛成です」などが有効です。あまり難しい話をするよりもシンプルにこれだけのほうがよい気がします。日本会議愛知県本部のみなさま、(私も含めてですが)私たちの悲願の憲法改正を成し遂げる為、一千万筆の署名取り、なんとか力を合わせて頑張りましょう。九月二十五日まで国会も延長になりました。安保関連法案は必ず衆議院を通ります。安倍総理も国会で頑張っています。私たちが負けてられません!  
(西春日井支部長 水田美子)



### 報告・名古屋東支部第二十一回勉強会、 街宣・署名活動実施!

※第一部※ ●開催日時 六月二十八日(日) 午前十一時~午後十二時三十分 ●会場 昭和生涯学習センター 第一集会室 ●会費 五百円 ●参加者数 三名【勉強会】テーマ:「自主憲法制定街宣演習・放談会」...これまでの保守活動の流れを確認しながら、各地域内で活動を行うっていく事の意義を再確認するとともに自分たち名古屋東支部の今後の活動方針や方法について話し合いました。 ●第二部 ●街頭演説活動 ●開催日時 同日 午後一時~三時 ●場所 昭和区 御器所交差点南西角 ●会費 無料 ●参加者数 三名【街宣】天候にも恵まれ比較的交通量の多い中で街宣活動を行うことができ、何名かの方から声をかけていただきました。「自衛隊は今や世界有数の戦力だから、わざわざ憲法を変えなくても国の守りは大丈夫ではないか?」という意見を話してくださった初老の男性には現行憲法下では自衛隊の活動が著しく制限されてしまう点や国民の総意として自衛隊を支えていく為にも憲法改正は必要だということをお話させていただいたり、「もし日本が攻めこられても、自分達が殺されなければ良い」というような護憲派の行き過ぎた意見を披露してくださる青年男性もおり、様々な意味で有意義な時間となりました。また、限られた時間で約七〇枚のチラシを配る事ができ、一定の成果は得られたのではないかと思います。 ☆次回予定 七月二十日(月祝)【第一部】 ●内容 勉強会「自主憲法制定街宣演習他」 ●会場 昭和生涯学習センター 第一集会室 ●時間 午後一時~二時三十分 【第二部】 ●内容 街頭演説活動「自主憲法制定について」 ●場所 御器所交差点周辺 ●時間 午後三時~五時 ●お問合せはメール (kakashi.katou@hotmail.co.jp 加藤貴之宛)までお気軽にご連絡の程、宜しくお願致します(名古屋東支部事務局長 加藤貴之)

陵墓参拝記 その六

学生時代から付き合ひのある先輩が古墳マニアであることを最近知りまし

関ヶ原から滋賀県にかけての史跡を案内していただいた。名神高速を関ヶ原インターで降りて関ヶ原鍾乳洞方面に向かいます。



次に向かったのが玉倉部の清水。日本武尊が荒神に破れ伊吹山から降りてきてお飲みになった清水です。

続いて向かったのは壬申の乱の史跡です。中山道の旧道を走ると大海人軍、大友軍両軍の兵士の血で川が黒く見えたとの言い伝えがある黒血川が流れていました。

井に向かいました。醒ヶ井の地名の由来となったのがこれも日本武尊が飲んだとされる居醒の清水です。



更に第二十一代雄略天皇が奇異な霊水が湧き出るとのうわさを確かめるために、ここに勅使をお遣わしになり、その勅使がここにいた蟹に水を飲ませようとしたときその蟹が石に変わったという蟹石なるものもあります。

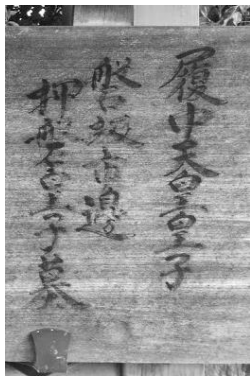


日本武尊像の前で記念撮影し隣接する賀茂神社を参拝しました。二礼二拍手一礼。神社境内からは醒ヶ井の町並みを俯瞰することができました。

そして米原インターから北陸自動車道に乗り次の長浜インターで降りて五キロほど東に行つたところにある第三十代敏達天皇皇后広姫の息長陵に向かいました。



この日予定していたコースはこれで終了だったので時間がまだ午後二時前でしたので、もう一箇所参拝することにしました。第十七代履中天皇皇子の警坂市辺押磐皇子墓です。



鳥居をはさんで二つの円墳が並んでいます。何故かという、市辺押磐皇子は雄略天皇にこの地に狩りに誘われ猪と間違えたといひ射殺されてしまいました。

二礼二拍手一礼。帰りは渋滞も無く一時間半ほどで自宅に到着しました。(愛知県本部事務局 松川秀康)

事務局日誌(六月) 服部守孝

三日(水)保守系団体有志にて、藤沢忠将先生の名古屋市会議長就任祝賀会を開催。藤沢先生には、長らく保守運動の相談役としてお世話になったが、この度の吉事は本当に嬉しく、有難かったです。

十日(水)名古屋経営者漁火会の勉強会に参加。冒頭に、「もうひとつの戦争展」の案内をさせていただいた。

十一日(木)終日事務所、来客なし。パソコンのネット接続をADSLからLANに切り替えた。これ、かなりのコスト削減となる。

二十三日(火)第四支部長・実務者合同会議を開催。会場を株式会社エフケイの深谷社長に同社会議室を提供いただいた。東京より柘島事務総長をお迎えして、憲法改正賛同者拡大運動の推進につき協議した。

二十六日(金)日本会議東海ブロック前期理事会が、長野県松本市で開催された。本部より、野崎事務局次長が議案を提出され、平成二十七年前期運動方針につき協議。終了後は、懇親会から二次会までお招きを受け、最終便のしなの号で帰省。松本駅ホームでは、列車の到着にあわせ、昔ながらの「まつもとも」と「まつもとも」が流れ、しばし旅情に浸った。

新規入会者ご紹介 (平成二十七年五月)

ご入会ありがとうございました。 木村 弘(正会員) 支援会員より移行 角皆 宏(正会員) 紹介者 鈴木直人 井田克彦(正会員) 紹介者 鈴木直人 堀 曜子(女性会員) 紹介者 HPより 種別順入会日順 敬称略

愛知県護国神社清掃奉仕予定

- 8月2日(日)午前7時開始、8時終了予定。
引き続き9月6日(日)午前8時より実施予定。
軍手を必ずご持参ください。また、小雨なら社屋の木枠拭きをしますので雑巾をご持参下さい。大雨は中止になりますが疑わしい天気の場合には、現場責任者の服部宛、電話(070-6583-4588)を下さい。
7月5日は、7名の方が参加していただきました。ありがとうございました。



(7月5日 奉仕後に撮影)

「日本の息吹」を引続きご購入くださいますようお願いいたします。